



## 群馬岳連救助隊訓練参加記

前橋山岳会 茂 木 茂 昭

平成15年6月21・22日  
妙義ロックガーデン

平成十五年年度の最初の救助訓練が六月二十一日と二十二日に妙義ロックガーデンにて行われた。私は二十二日のみ参加。朝七時、ロックガーデンの登り口に集合。前日は、既にロックガーデンにて、救助に使用するワイヤーワーク・ロープワークの訓練を行っている。また、労山から三名の参加者も迎えて総勢十五名の訓練であったとのこと。

私は今年度最初の訓練であったり、ワイヤーワークがまだまだ身についていなかったりと、緊張して訓練に臨んだ。

まず、ロックガーデン前に全員集合し、松永隊長よりワイヤー搬出の実践訓練の段取りが告げられ

る。負傷者が、岸壁右上部に取り残されているという想定。岸壁最上端よりワイヤーによって搬出を行う訓練である。上部のリーダーは小暮さん。下部のリーダーは町田さん。各隊員は上部・下部に分かれ、また救助者・負傷者役もこなしつつ本番を想定して訓練するという流れであった。

私は、他の二名の隊員とともに、フィックスしながら、上部へのルート工作という分担。岸壁右端の沢から尾根に入りロープを伸ばすが、「フィックス」の手順を小暮さんから教えていただいた。トップ、セカンド、サードの各役割。ロープを少しでも上に伸ばすにはどうするか。下降に備えてロープをどう処置するか。まだまだ経験の浅い私にはなるほどそうだったのか、と思うことが救助隊の訓練では随所にあり、これが醍醐味でもある。

上部からは、メインワイヤーをディスクから繰り出しながら、一卷き分一〇メートル以上のワイヤーを下部まで下ろす。下部では「張込み」に備えて四分の一ウインチシステムを用意しているはずだ。負傷者を岸壁途中に下降させる。準備ができたなら、救助者が下降用ワイヤーで滑車とともに下降を始め、負傷者へ辿りつき確保。この

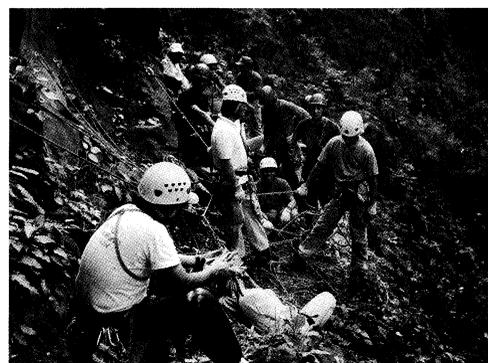
間トランシーバーで救助者は上部と連絡をとり、一〇センチ刻みで下降を行う。負傷者を滑車へ連結したら、下部へ張込みの連絡。ワイヤーが張られ、二人が空中に浮く。町田さんから、このときの強度は慎重に計算された強度で張る必要があるとのこと。張込み完了後、上部よりワイヤーを繰り出す。ディスクを介した繰り出しにも慣れておく必要がある。救助者は負傷者を確保し、下降を続ける。下部の隊員により二人が回収されると一連の搬出が終了する。

私もすべての作業を他の隊員と交互にこなすことが出来た。それぞれの場面で小暮さん、町田さんより指示がとぶ。それで一層ポイントを理解することが出来た。的確な指示を受けることができる安心感のもと、まず自分で手を出してみる。そうすれば自分のものにする事ができる。そう感じたとても有意義な一日となった。

平成15年7月6日

谷川岳一ノ倉沢

今日の訓練はテールリッジの間部から衝立前沢奥まで二〇〇メートルのワイヤー搬出である。沢にはまだ雪渓が残っている。今日は下部は小暮さん、上部を町田さんをリーダーに二班に分かれ作業を開始した。前回妙義での訓練を踏まえたより実践的な訓練である。私は、最初下部でスノーバーによる支点のセットのあと、上部へ



と移った。上部は、テールリッジ最初の岩場を過ぎたブッシュ帯が搬出点と設定された。剣持さんを中心に支点工作、ディスクのセット、ストッパーのセットが進められた。そして、実際の搬出に移る。今回は二〇〇メートル、ワイヤー二巻き分の搬出であり、搬出途中でワイヤーの連結が行われる。ワイヤーには当然連結部があり、それを意識した作業が必要となる。出だしはブッシュ帯となるが、それを過ぎると救助者、負傷者とも空中に浮く。スケールのあるダイナミックな搬出でミスは許され

ない。慎重に数回二〇〇メートルの空中搬出を繰り返す。途中途中で問題点の指摘と修正の指示がリーダーからとぶ。やはり実践の過程で身に染みた一言一言が本番で生きるのだろうと感じる。また、二〇〇メートルの搬出であるので、隊員同士の連携・連絡が重要である。そして救助はなによりも一発勝負である。

午後からは、岩場の途中にいる負傷者を回収して搬出する「横取り」を行った。上部と救助者との連絡、横取りする隊員の手順、横取り後の下部の張込み、それぞれの手順を着実にこなすと、負傷者が回収され、下部まで無事運ばれる。前回妙義で学んだことを実践に生かせるような訓練となった。

訓練後の反省会では松永隊長がワイヤー搬出をこれだけのレベルで実践しているのは群馬岳連だけだという話があり、使命感を一層新たにされた。また、隊員数は現在十六名と減少傾向にあり、群馬のワイヤーを受け継いでいく人材をもっと育てて行きたいという話も印象的であった。

## 平成十五年救助隊編成

群馬岳連遭難対策部長 松 永 幸 雄

平成十五年年度の救助隊は左記の編成となりました。

顧問 西山年秋、隊長 松永幸雄、副隊長 小暮文彦、町田幸男、隊員 梁瀬佐市、清水福治、山田重之

(沼田)、堀越利通(登高会)、茂木茂昭、角田守(前橋)、清水裕千(むすび)、小沢勝(独峰)、剣持典之(境町)、阿久津幸弘、金子茂敏、武井幸一、長山栄二(太田)。

### 《新規加盟団体紹介》

## 山岳溪流会 岩遊

代表 豊野則夫



私達も何の抵抗も

なく、ごく自然にその世界に入り、竿を持つて朝日、飯豊、下田、川内、越後の沢へと出掛けました。

高みへの憧れとでも言うのでしょうか、より奥へ、よりハ

ドな沢へと思う気持ち、現在の沢登り集団、岩遊を造り出したものと思います。

現在の会員数は二十四名となり、内十

八名程が活動をしています。古い会員の晩会やOB化もありますが、

若い新人会員も増え、意欲的に参加してくれるのでこれからが楽しみです。

会の活動内容としては、沢登りが中心で、フリークライミングに

岩登り、山スキーにアイスクライミングが主ですが、これからは冬季クライミングや冬山縦走、できることなら海外登山の方にも足を伸ばしてみたいと思っております。

群馬岳連に加盟したことにより、会員共々正しい登山技術を学び、

積極的に水に入り泳ぎや飛び込みなどを駆使して沢を登る、所謂ウォータークライムの到来でした。

安全で楽しい登山を目的とし、岩

遊と言う会を長く伝統ある会として存続して行きたいと思っております。

最後になりましたが、遭難救助技術なども学びたいと思っております。

### 連絡先

山岳溪流会岩遊代表 豊野則夫

TEL

0278(24)0635 夜

0278(24)2333 昼

### 《新規加盟団体紹介》

## 伊勢崎市ハイキング協会

代表 出雲清己

『山を愛し、自然を愛し、人を

愛する』会として平成十四年四月に「ハイキングクラブ伊勢崎山遊会」として発足した会です。平成十五年四月、伊勢崎市体育協会に

加盟した事により会の名称も『伊

勢崎市ハイキング協会』と改名した。この会は里山からアルプス(夏山)までのハイキングを中心とした活動で、会員相互の協力により

社会に奉仕し、正しいハイキング技術、理論、自然観を身に付け、

広め、心身を鍛え、さまざまな個性を持つ人達との交流連携を通じ共に友情を深め健康で心豊かな日々を過ごす事を狙いとす。

### ◎活動内容

※ハイキング会議を毎月第三木曜日に開催し、「山遊通信」を発行している。「山遊通信」に基づき山行計画の説明と山行を呼び掛けている。

※会報「山遊通信」を毎月発行し、山行案内・山行報告・山行時の注意ポイント・装備等の説明や連絡事項等を記載している。

※理事会を毎月第一木曜日に開催

し山行計画に基づいてコースや装備等の確認等を行う。又会の諸問題の改善策を検討する。

※例会山行は★☆☆ ★★ ★印で山とコースにランク付けを設けている。同じ日に★★★と★(二つ星)を組み合わせる様にし、より多くの人に参加を呼び掛けている。

例会山行は基本的には毎週日曜日に実施している。

※会員相互の協力と社会に貢献する活動の一環として市民ハイキングを年二回、クリーンハイク

(清掃ハイク)等も行っている。※安全山行の為の教育は、新入会員には説明会を行い、その時に簡単な装備や会のあらましを説明し、歓迎山行の時に歩き方や

装備の説明等を行っている。会員の研修会は地図の見方、セル

フレスキュー等の研修会も行い、安全山行の意識付けを行いたい。

※今後日曜日に業務の都合で山行出来ない人の為に、平日山行の実施を考える。

### ◎会員の状況

会員数 一〇四名

男性 四十九名、女性 五十五名。

連絡先 伊勢崎市ハイキング協会

代表 出雲清己  
TEL&FAX 0270(32)3429





## 第十四回山田昇記念杯登山競争大会

鏑木 毅選手 破竹の七連覇 (山田杯)

樋口大棋選手 大会新記録 (三枝賞)

群馬岳連総務部長 女 屋 等 志

本県が生んだ登山家、山田昇、三枝照雄両氏の業績を後世に伝え、登山の基礎である体力を競い合って、登山の普及や発展を推し進めようとする、第十四回山田昇記念杯登山競争大会が、平成十五年九月二十八日(日)、武尊山(二一五メートル)において開催され、山田昇記念杯は鏑木毅(群馬県庁)が二時間二十九秒の快記録で七連覇。連覇記録を更新した。三枝照雄賞の部(十九歳未満)は、樋口大棋(新潟県十日町高校)が大会新記録で栄冠をつかんだ。今回は山田杯八十九名、三枝賞五十四名、

競争を行わない一般参加の部四十四名、合計百八十七名が参加した。

鏑木選手は、猛スピードでゴールテープを切ると、そのまま倒れ込んだ。その二十秒後に若手の松本大選手(群馬大二年)がゴールし、二人の激戦を物語っていた。前半の登りで三枝賞の樋口大棋選手が飛び出し、鏑木と松本がそれを追う展開。鏑木はテンポよく登っていく樋口の様子を見て、「彼を早く抑えたかった。追い抜くことは

できたが、前半で八十パーセントの体力を使ってしまった」という。後半になると、前半出遅れ気味だった松本がじりじりスピードを上げる。松本の存在を背中に感じながら鏑木は、「ラストは歩くようなペース。はいつくばるように下ってきた」という。鏑木は「下からの突き上げのおかげ」と、快記録での七連覇達成と若手の台頭を素直に喜んだ。松本も「得意の登りで離す計画だったが、甘くなかった。でも好タイムが出せてうれしい。次は優勝を狙いたい」と笑顔を見せていた。

十月に静岡県で開催された第五十八回国体山岳競技では、本県から鏑木・松本ペアが出場し、成年男子縦走種目で第三位、三枝賞第三位の柴山大寿選手(高崎高校)が出場した少年男子縦走種目第五位と入賞を果たした。また、新潟県十日町高校の三枝賞第一位樋口大棋、第二位若井一樹両選手が少年男子縦走種目に出場してみごと優勝、本大会が国体山岳競技選手の総仕上げの場として成果を上げることがうかがえる。



## 第14回 山田昇記念杯登山競争大会記録

### 山田昇杯の部

|    |          |              |            |
|----|----------|--------------|------------|
| 1  | 鍋木 毅     | 群馬県庁         | 2° 02' 19" |
| 2  | 松本 大     | 群馬大学         | 2° 02' 42" |
| 3  | 林 幸男     | 太工山岳部OB      | 2° 20' 24" |
| 4  | 佐藤 昭則    | 十日町地域消防署     | 2° 20' 44" |
| 5  | 渡辺 幸一    | 前橋紙工         | 2° 25' 35" |
| 6  | 齋藤 亨     | 独走快汗         | 2° 30' 36" |
| 7  | 若井 栄一    | 十日町地域消防署     | 2° 30' 44" |
| 8  | 粕川嘉久治    | 勢多郡新里村       | 2° 36' 23" |
| 9  | 高橋 昭彦    | 信州大学山岳会      | 2° 42' 48" |
| 10 | テニスオコーナル | 東京都青梅市       | 2° 43' 51" |
| 11 | 児玉 雅之    | 太田山岳会        | 2° 49' 47" |
| 12 | 武藤 光幸    | 太田市役所        | 2° 50' 40" |
| 13 | 松本 大     | 公立藤岡総合病院     | 2° 50' 59" |
| 14 | 飯塚 敏宏    | 群馬郡群馬町       | 2° 55' 01" |
| 15 | 石井 和徳    | チームマインド      | 2° 55' 49" |
| 16 | 廣瀬 昭憲    | 県立高崎工業高校     | 2° 59' 24" |
| 17 | 小山 勝稔    | 翌松山岳会        | 3° 00' 09" |
| 18 | 川崎 政春    | 越生七福神        | 3° 01' 47" |
| 19 | 山田 豊     | 沼田山岳会        | 3° 04' 16" |
| 20 | 山口 尚己    | 吾妻郡中之条町      | 3° 04' 27" |
| 21 | 深澤 賢二    | 東京都青梅市       | 3° 06' 49" |
| 22 | 高橋 守男    | 県立渋川女子高校     | 3° 07' 47" |
| 23 | 中里俊太郎    | 公立藤岡総合病院     | 3° 08' 13" |
| 24 | 法領田 恵    | 高崎市立中居小学校    | 3° 08' 47" |
| 25 | 飯田 祐治    | お誕生会         | 3° 09' 33" |
| 26 | 丸山 剛志    | 東京電機大学       | 3° 11' 23" |
| 27 | 深谷 明     | 太田山岳会        | 3° 11' 33" |
| 28 | 廣岡創太郎    | 日本大学         | 3° 11' 43" |
| 29 | 南雲 周作    | 十日町新座マラソンクラブ | 3° 13' 13" |
| 30 | 大野 真也    | 県立大泉高校       | 3° 13' 22" |

### 三枝照雄賞の部

|    |        |           |            |
|----|--------|-----------|------------|
| 1  | 樋口 大棋  | 新潟県十日町高校  | 2° 11' 37" |
| 2  | 若井 一樹  | 新潟県十日町高校  | 2° 14' 07" |
| 3  | 柴山 大寿  | 県立高崎高校    | 2° 43' 43" |
| 4  | 片野 直子  | 県立沼田女子高校  | 2° 51' 42" |
| 5  | 水野 美咲  | 新潟県十日町高校  | 2° 57' 33" |
| 6  | 小林 美久  | 新潟県十日町高校  | 2° 59' 17" |
| 7  | 小川 拓己  | 県立利根実業高校  | 3° 11' 54" |
| 8  | 瀬下 恵介  | 県立高崎工業高校  | 3° 26' 06" |
| 9  | 坂井可南子  | 県立沼田女子高校  | 3° 26' 41" |
| 10 | 佐藤 麻衣  | 県立伊勢崎女子高校 | 3° 31' 11" |
| 11 | 木村 允規  | 県立利根実業高校  | 3° 36' 25" |
| 12 | 山口 拓実  | 県立藤岡工業高校  | 3° 40' 24" |
| 13 | 高橋 慧多  | 県立中央高校    | 3° 46' 13" |
| 14 | 田村 晃宏  | 県立沼田高校    | 3° 48' 32" |
| 15 | 石田 里美  | 県立沼田女子高校  | 4° 01' 07" |
| 16 | 佐藤 央佳  | 県立中央高校    | 4° 11' 35" |
| 17 | 小貫 義公  | 県立館林高校    | 4° 19' 20" |
| 18 | 高橋 俊浩  | 県立高崎工業高校  | 4° 20' 05" |
| 19 | 西山 文浩  | 県立利根実業高校  | 4° 21' 38" |
| 20 | 金子 太郎  | 県立利根実業高校  | 4° 21' 39" |
| 21 | 平澤 雅輝  | 県立利根実業高校  | 4° 21' 50" |
| 22 | 鯉沼 純   | 県立館林高校    | 4° 23' 25" |
| 23 | 渡邊 亮蔵  | 県立高崎工業高校  | 4° 33' 22" |
| 24 | 千木良かおり | 県立沼田女子高校  | 4° 34' 03" |
| 25 | 山口絵里子  | 県立沼田女子高校  | 4° 34' 36" |
| 26 | 新井 裕人  | 県立高崎工業高校  | 4° 36' 49" |
| 27 | 志村 直紀  | 県立藤岡工業高校  | 4° 53' 02" |
| 28 | 浦野 史徒  | 県立館林高校    | 4° 53' 10" |
| 29 | 山川 慶子  | 県立高崎工業高校  | 4° 57' 06" |
| 30 | 内田 祐貴  | 県立高崎工業高校  | 4° 59' 30" |

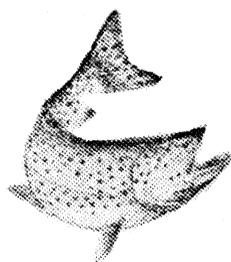
(表中の ° ' " は、時間・分・秒を表す)

味の店 ドライバーレストラン

# 一本松さかい

利根郡白沢村 (国道120号線) TEL.0278-53-2053

# 片品川国際マス釣場



星 野 水 産

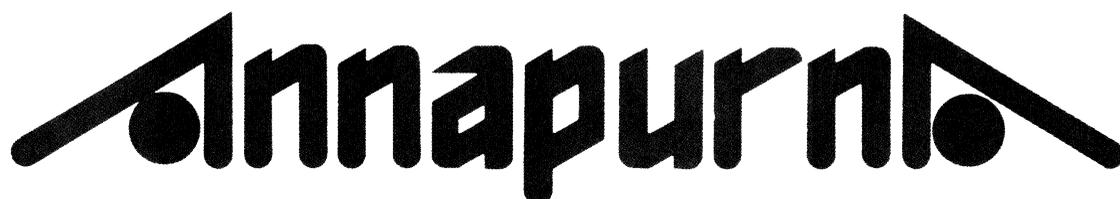
〒378-0013 沼田市新町230-1

TEL 0278-24-1398

味のりんご

# アンナプルナりんご園

沼田市上久屋町1231 TEL・FAX 0278-23-6802



墓 石 ・ 灯 籠 専 門 店



# 高 橋 石 井

高崎市石原町1497 TEL (027) 323-8867  
工場・高崎市八幡町1245-67 TEL (027) 343-0270

群馬むすびの会会員

電話、弱電工事

## プモリ電設

〒379-2223

佐波郡東村東小保方252

☎ 0270-62-2012



# (有) 山とスキーの店 石 井

## Dream BOX

伊勢崎市宮子町1819-1

TEL 0270-21-8025

FAX 0270-21-8026

本店 (山の談話室 楼蘭)

伊勢崎市中心町18-8

TEL 0270-25-0272



**萬屋建設グループ**

歴史、信用、技術をもって、21世紀の人間と環境を考える。



総合建設業  
**萬屋建設株式会社**

会長 星野 光

■本社 群馬県沼田市上原町1756-2 TEL 0278-23-4648(代) FAX 0278-24-3371  
 ■支店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-3985-7631 FAX 03-3982-5964

群馬県公安委員会指定 (公認)

**株式会社 沼田自動車教習所**

群馬県沼田市横塚町1088-13 TEL 0278-24-4811 FAX 0278-23-7960

昭和シェル石油特約店  
**有限会社 丸萬石油**

群馬県沼田市上原町1756  
TEL 0278-23-0018 ☎ 0120-41-0018

日本工業規格表示許可工場  
**建設生コン株式会社**

本 社 沼田市上久屋2338-1 TEL 0278-24-3111  
大楊工場 利根郡利根村大字大楊187 TEL 0278-56-3682

総合建設業  
**株式会社 鈴木工業所**

群馬県沼田市上久屋1162-5  
TEL 0278-22-2846 FAX 0278-23-6233

マンション  
**萬栄ビル株式会社**

東京都豊島区東池袋4-2-7  
TEL 03-3971-3433 FAX 03-3982-5964